

「白堊研究Ⅰ」（第4回）学習指導案

- 1 単元名 「目的・目標」の立て方（書き方）を考える
- 2 本時の目標
 - ・「目的・目標」の立て方考える。
 - ・「目的」「目標」「手段」の定義を確認する。
 - ・「高校3年間の目標」「そのための手段」を考えさせる。

3 本時について

生徒においても、社会人でも、「目的」と「手段」が区別できない人もいます。「手段」を「目的」にしてしまうことにより、主旨が変わってしまい、正しい結果が得られないことが多い。例えば、「勉強する」は「手段」である。「何のために勉強するのか?」「いい会社（本来は具体性があった方がよい）に入るため。」これは、目標となる。「なぜ、いい会社に入りたいのか?」「家族を養うだけの収入を得て、健やかな老後を過ごしたい。」となると「目的」になるのかもしれない。

4 準備・資料

ワークシート、振り返りシート、筆記用具（生徒）、黒板提示用資料2枚、マグネット

5 展開

| 過程 | 学習活動 | 指導内容および留意点 |
|--------------------------|--|---|
| 授業前 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前配布をする。 ・学習状態を編制する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間前に教室に入り、配付物を配付する。 ワークシート、振り返りシート ・グループ編成をしておく。（1班4，5人） |
| 導入 7分 | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶（1分） ・授業内容説明（3分） ・ワークシートに目的・目標記入。（3分） | <ul style="list-style-type: none"> ・始業開始のチャイムが鳴り終わったら、号令をかけさせ、開始する。 「今回は、「目的・目標」とは何かについて、考えていたいと思います。入学してから間もなく3ヶ月がたとうとしています。入学時、高校における目的・目標を持っていたと思います。覚えていますか？ワークシートに書いてみましょう。」 「ワークシートは、目的か目標を選ぶようになっています。どちらを選んでも構いません。選択する方に、○を記入し、書いてください。」 「時間は3分間です。始めてください。」 「やめてください。」 （スムーズに書ける。「文武両道」が多いかも知れない。） |
| 展 開 (1) 観 察 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動説明（2分） ・グループディスカッション（8分） ・内容の状況確認（5分） | <ul style="list-style-type: none"> 「これから、お互いの「目的・目標」を確認してもらいます。特に、「目的・目標」の<u>内容としてふさわしいか</u>を見てもらいます。その後、発表してもらいます。どんな「目的・目標」が出たか。内容について、どんな話し合いをしたか。まとめてください。」 「時間は5分間です。始めてください。」 ・「目的・目標」に対して、「手段（勉強する。部活動をするなど。理由付けが無いもの。）」を記載している班を探しておく。 「やめてください。」 「では、発表してもらいます。」 ・2，3班から内容の状況報告をしてもらう。 ・問題定義が出されなくても構わない。 （目的・目標のみでも良い） ・発表内容を、教員が、板書する。 |

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>展開 (2) 発表 23分</p> | <p>・「手段」が「目的・目標」になっていないか確認する。 (3分)</p> <p>・「目的」「目標」「手段」の定義 (10分)</p> | <p>「勉強する。部活動をするなど、手段を「目的・目標」にしてしまっている人はいませんか？「手段」を「目的」と勘違いしてしまうと、何のために勉強するのか？時間をかけても結果が出ないということも起こります。よって、「目的・目標」をしっかりと設定することが大切になります。」</p> <p>「目的、目標、手段とは何か、調べたことがありますか。みんな電子辞書をもっていると思うので、分担して、調べてみましょう。ワークシートには、それを記載するところがあります。調べて書いてください。」 「黒板にも、先生が調べたものを貼りますので、比べてみてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板提示用プリントを2枚貼る。 ※生徒に、作業をさせながら、話を進める。 ・1枚目の説明 「国語辞典では次のように定義されています。」 <div data-bbox="683 689 1426 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「目的」 到達したいと思ふ目指すところ 「目標」 めじるし、めあて、ねらい 「手段」 目的を実現するための方法</p> </div> <p>「目的は、最終的に目指すところ。目標は、そのために設定する分かりやすい中間地点。手段は、そのための方法と言えます。」</p> <p>例1) 夏休みの課題は多かったですか。時間の無駄だと思った人も多いのではないのでしょうか。たぶん、そう考えた人とは、「課題をやる」ことを目的にしてしまったのではないのでしょうか。「課題をやる」は手段ですよ。そのため、「課題をやる目的」を設定する必要があります。「夏休み前の授業が理解できていなかったの、確認のために行く。」「自分の苦手とすることを確認するために行く。」など、目的を設定することにより、充実した時間を過ごせるのではないのでしょうか。部活動でも同じですよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2枚目の説明 「(このように【※例2からの続きの場合】)やるべきこと(手段)があるが、目標が分からない人は、「何のためにするのか?」「なぜやった方が良いのか?」を考えるとよいでしょう。」 ・「手段」から「目的」を探すためには、「何のため」を繰り返していくと見つかるアドバイスする。 「目的がある人は、「そのためにはどうしたらよいか?」を考えると「目標」「手段」が設定されていきます。」 ・「目的」から「手段」を考えるには「そのためには」を繰り返していくことをアドバイスする。 <p>「それでは、あらためて自分の「目的」「目標」「手段」を考え、ワークシートに書いてください。「目的」は最終地点ですので、人生の目的でも、高校でも良いです。「目標」は、高校での目標にしてください。目標、手段は具体的になればなるほど、いろいろなことが考えられると思います。」 「具体的に考えるため、ワークシートのウラを利用し、今までに学んだ、アイデアをとにかく書き出す「ブレインストーミング」を活用したり、「何のため」「そのためにはどうしたらいいか」などを考えたり、してください。」</p> |
|----------------------------------|--|--|

| | | |
|-------------------|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「目的」「目標」「手段」の設定（10分） ※ここで、時間調整して良い。 | <p>「時間は10分間です。始めてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目的」が書けない場合には、書かなくてもよい。 ・「目的」が「幸せに生きる。」などになっても良い。 ・時間が余った時には、まわりとそれぞれの設定内容があるか確認させる。 ・目標・手段はできるだけ具体的に書くよう指示する。「やめてください。」 |
| <p>まとめ 8分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りをする。（3分） ・振り返りシートを記入する。（5分） ※ここで、時間調整して良い。 | <p>「手段」を「目的」や「目標」にしないでください。何か行動をするとき、「なんのためにするのか」または「本当にやらなくてはならないのか」の吟味をすることも必要です。」</p> <p>「部活動も勉強もただやっていると、力が付きません。理由を考えるだけでも思考力が身につきます。目的を持つことで、物事を効率的に進み、自分に必要な能力が身につきます。そのためにも、しっかりした「目的」や「目標」を持って行動しましょう。」</p> <p>「社会に出ると、時代の変化にともない、「目的」を変えなくてはならないときがあります。だからといって、今までやってきた「目標」や「手段」が無駄になることはありません。「目的」は変更されることがあるものです。変更を恐れなくてください。」</p> <p>「では、振り返りシートを記入してください。」</p> <p>※80字文は、具体的に、きっちり80字書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短文でも内容の濃いものを書くことで、思考力が高まる。 ・時間があれば、お互いに内容を確認させる。 |
| <p>おわり 2分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・プリントの回収をする。 ・挨拶 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ワークシート、振り返りシートを回収してください。」 ・授業終わりのあいさつをする。 |
| <p>終了後</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・PDFにする。 ・データ入力 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえりシート」「ワークシート」を評価する。 ・「ワークシート」CheckListをスキャナでPDFにする。 ・「振り返りシート」はそのまま提出する。 |

高校における「目的・目標」ワークシート

1年 組 番 名前 _____

○選択する項目の（ ）に丸を付けて、枠に記入してください。

() 日立一高に入った目的 () 日立一高での目標

| |
|--|
| |
|--|

○調べた言葉の意味を書こう。

1. 「目的」とは

| |
|--|
| |
|--|

2. 「目標」とは

| |
|--|
| |
|--|

3. 「手段」とは

| |
|--|
| |
|--|

○あらためて、「目的・目標・手段」を書こう。よく考えて書いてみよう

1. 自分が今、設定できる「目的」。人生についてでも良い。

| |
|--|
| |
|--|

2. 日立一高における高校時代の目標（できるだけ具体的に）

| |
|--|
| |
|--|

3. 「2」に対する手段（できるだけ具体的に）

| |
|--|
| |
|--|

①

「目的」

到達したいと思い目指すところ

「目標」

めじるし， めあて， ねらい

「手段」

目的を実現するための方法

（旺文社 国語辞典 第9版）

②

目 的：（人生における？）**最終地点**



（なんのために？）



（そのためにどうする？）



目 標：「～のため，～する。」



（なんのために？）



（具体的にどうする？）



手 段：「～する。」



「白堊研究Ⅰ」【Check-List】<教員用>

④「目的・目標」の立て方（書き方）を考える

1年（ ）組

○を記入し、「要因」を記載する。↓

| | | |
|-----------------|--|--------------------------|
| ・時間通りできなかった。 | | <input type="checkbox"/> |
| 要 因 | | |
| ・指示がうまくいかなかった。 | | <input type="checkbox"/> |
| 要 因 | | |
| ・生徒が積極的に動かなかった。 | | <input type="checkbox"/> |
| 要 因 | | |
| ・その他の問題点 | | |